

項目	内容
名称	塩素 [英]Chlorine (Cl) [学名]-
概要	<p>塩素は、細胞外液にもっとも多く存在する陰イオンで、体液の浸透圧の維持に重要な役割を果たし、胃液中の塩酸の成分となっている。食事からの塩素の摂取は、主に食塩の形で行われ、約60%は蓄積せず腎臓から体外に排泄されている。塩素は食塩として、食物から十分摂取されており、現在では過剰摂取の状態になっている。</p>
法規・制度	<p>■ 食薬区分 「専ら医薬品として使用される成分本質 (原材料) 」にも「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料) 」にも該当しない。</p>
成分の特性・品質	
主な成分・性質	<ul style="list-style-type: none"> ・ 元素記号Cl、原子番号17、原子量35.45。塩化物の形で広く生物界に存在する。
分析法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 塩素の分析には、モール法 (101) 、イオンクロマトグラフ法が用いられる (PMID:14698273) 。
有効性	
ヒトでの評価	<p>循環器・呼吸器</p> <p>調べた文献の中に見当たらない。</p>
	<p>消化系・肝臓</p> <p>調べた文献の中に見当たらない。</p>
	<p>糖尿病・内分泌</p> <p>調べた文献の中に見当たらない。</p>
	<p>生殖・泌尿器</p> <p>調べた文献の中に見当たらない。</p>

脳・神経・ 感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
免疫・がん・ 炎症	調べた文献の中に見当たらない。
骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
肥満	調べた文献の中に見当たらない。
その他	調べた文献の中に見当たらない。
参考文献	(55) Harper's Biochem 23th.ed (31) 理化学辞典 第5版 岩波書店 (PMID:14698273) J Chromatogr B Analyt Technol Biomed Life Sci. 2004 Feb 5;800(1-2):321-3.